

広島市医師会 インフルエンザA型B型発生動向調査

A型 2012年3月29日(木)

患者居住区													報告医療機関数	
地域	0~4	5~9	10~14	15~19	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代↑	計		
中区				1								1	中区	2
東区												0	東区	
南区					2	1						3	南区	1
西区					1	1						2	西区	2
佐伯区												0	佐伯区	
安芸区					1							1	安芸区	1
安芸郡				1								1	安芸郡	1
安佐南区												0	安佐南区	
安佐北区							1					1	安佐北区	
その他												0	その他	
計	0	0	0	2	4	2	1	0	0	0	0	9	計	7

B型

患者居住区													報告医療機関数	
地域	0~4	5~9	10~14	15~19	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代↑	計		
中区												0	中区	2
東区		1	1			1						3	東区	2
南区						1						1	南区	2
西区	1		1		1							3	西区	
佐伯区												0	佐伯区	1
安芸区							1					1	安芸区	1
安芸郡				1								1	安芸郡	1
安佐南区					1							1	安佐南区	
安佐北区	1											1	安佐北区	
その他			1									1	その他	
計	2	1	3	1	2	2	1	0	0	0	0	12	計	9

広島県 インフルエンザ警報 が解除されました。

- 今シーズンの流行のピークは、昨シーズンのようにA型のインフルエンザウイルスが流行した後に、B型のインフルエンザウイルスが流行して再びピークを迎えるといった「二峰性」のようなことはなく、例年とほぼ同時期の平成24年第4週（1月23日から1月29日）でした。
- 今シーズンは、西部東、東部、北部及び福山市の4保健所管内で警報開始基準（定点当たり30）以上となり、特に西部東保健所管内では、平成24年第4週に定点当たり87.10と非常に高い数値となりました。
なお、西部、広島市及び呉市の3保健所管内では、昨シーズンと同様に警報開始基準以上となることはありませんでした。
- 今シーズン検出されたインフルエンザウイルスは、A香港型（H3N2）インフルエンザウイルスが主流でした。
- 今シーズンの年齢階層別の報告数累計割合は、15歳未満が全体の約75%を占め、例年とほぼ同じ傾向でした。
- インフルエンザ様疾患で休校や学級閉鎖等の措置を行った学校等の報告数は、平成24年3月29日現在で延べ618件で、最も報告数が多かったのは、平成24年第4週の140件でした。

広島県健康福祉局 提供

インフルエンザ動向調査 終了のお知らせ

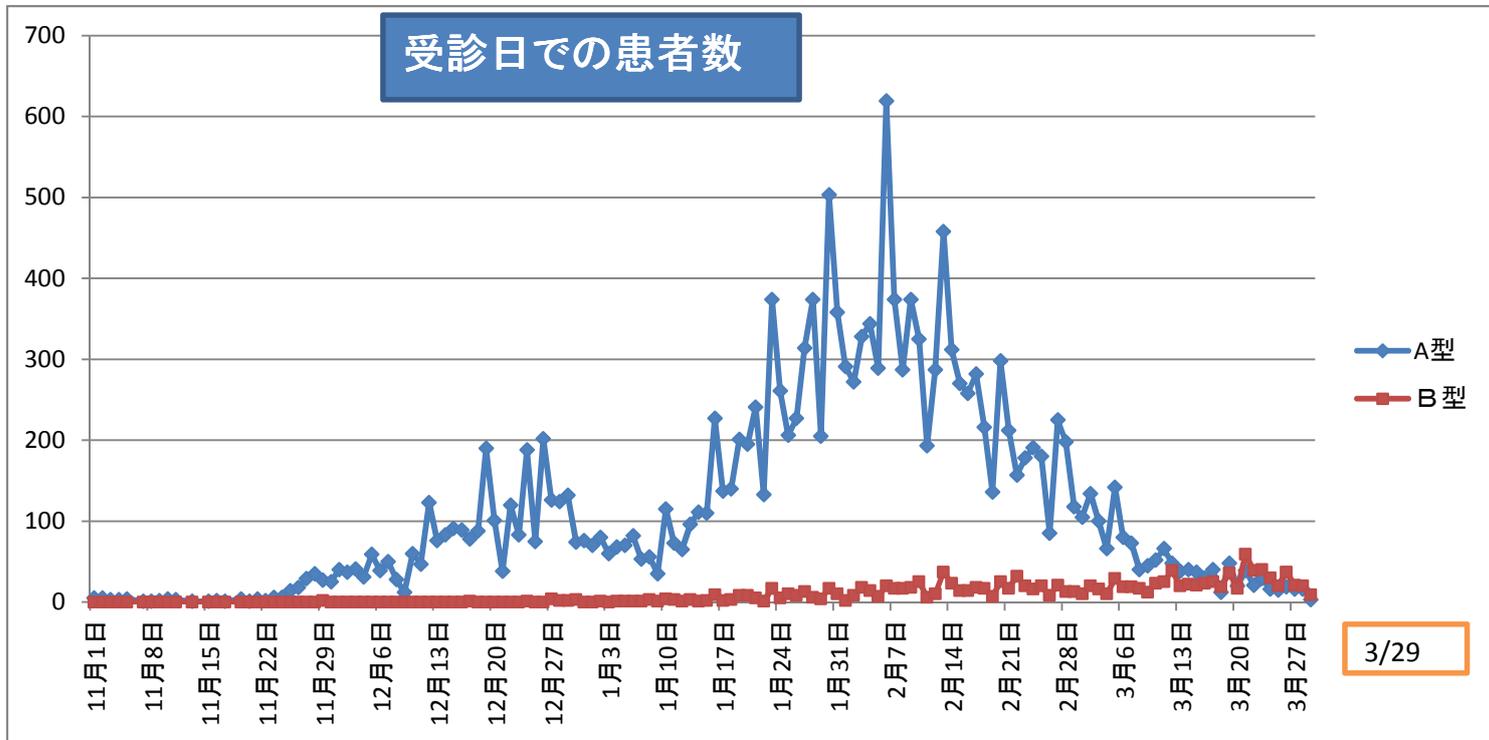
インフルエンザ動向調査にお忙しい中、長期間 ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

3月31日でインフルエンザ動向調査を終了とさせていただきます。

なお今シーズンの集計につきましては医師会ホームページ、検査センター インフォメーション または、センターだよりにて報告いたします。

広島市の平均気温とインフルエンザ患者数

受診日での患者数



広島市 平均気温

